



恐竜のまちづくり最前線

パート 21

穂別稲里
恐竜特集



報告：「恐竜・化石教室」 太田先生の恐竜講座

地域おこし協力隊（恐竜隊）では、8月9日、10日に地球体験館で「太田先生の恐竜講座」を実施しました。実物の標本をたくさん使用し、子供だけでなく大人も楽しめる講座になりました。

また、8月23日、31日には宮戸小学校の放課後子供教室で「恐竜・化石教室」を実施しました。こちらはアンモナイトをテーマにし、アンモナイトと現代の生き物たちとの関係を探ったり、糸つきの針金を使ってアンモナイトのストラップを作ったりしました。このストラップは鶴川地区の町民文化祭で展示されますので、ぜひご覧ください。



児童たちと作ったアンモナイトのストラップ

マーストリヒチアンの恐竜たち⑨ オルニトミムス



オルニトミムスは「鳥に似たもの」という意味の名前です。長いしっぽを除くとダチョウにそっくりな体つきをしており、走るのも速かったようです。

オルニトミムスのからだには羽毛が生えていました。大人のオルニトミムスの前足には現在の鳥のような「翼」がりましたが、子供にはありませんでした。大人になると翼が発達することから、この翼は求愛行動やタマゴを温めたりするために使われていたのではないかと考えられています。

※マーストリヒチアンとは約7200万～6600万年前の地質時代の名前で、むかわ町の恐竜が生きていたのと同じ時代です。

文・イラスト：太田晶（地域おこし協力隊）

人 の 動 き

平成28年8月31日現在

▶人口 8,669人 (-5)

▶男性 4,274人 (-3)
▶女性 4,395人 (-2)

▶鶴川地区 5,906人 (-7)
▶穂別地区 2,763人 (2)

▶世帯 4,401世帯 (-5)

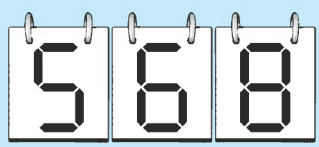
平成28年8月1日～31日

出生 2人 死亡 3人
転入 16人 転出 20人

※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

交通死亡事故ゼロ日数

平成28年8月31日現在



年間スローガン
ストップ・ザ・交通事故
～めざせ安全で安心な北海道～

